



World Sailing



トピック1

World Sailing (ワールドセーリング) とレースをしましょう！

World Sailing (ワールドセーリング)
のサステナビリティ教育プログラム

協賛



WORLD
SAILING
TRUST



World Sailing (ワールドセーリング) のサステナビリティ教育プログラム へようこそ!

World Sailing (ワールドセーリング) は1907年にパリで設立された世界のセーリングスポーツを統括する国際競技連盟です。国際的にセーリングを普及し、オリンピックやパラリンピックのセーリングの競技を管理したり、レースの規則を作って世界中の選手を支援しています。

World Sailing (ワールドセーリング) は、145か国の連盟団体と115クラスの船で構成されており、世界の水域を保護するために協力しながら、セーラーがセーリングへの情熱を分かち合うことを望んでいます。セーリングはよりよい変化とプラスな影響をめざすグローバルな動きのひとつです。あなたも水の上でも実生活の中でも自分の行動を通してその活動の一員になることができます。

これに向けてセーラーを支援するために、World Sailing's Sustainability Agenda 2030 (ワールドセーリングのサステナビリティアジェンダ2030) と呼ばれる計画があります。これは、国連の持続可能な開発目標の12個もの目標達成やセーラーが環境に与えられるプラスの効果の最大化などに対して、セーリング界にどんな変化が必要かを示す計画です。

このアジェンダは、専門家で構成されるサステナビリティを考える委員会によってまとめられ、多くのフィードバックの後、2018年5月に145のすべての加盟国当局によって採用されました。6つの推奨事項及び56の個別目標があります。この教育プログラムは、「トレーニングを通じてサステナビリティを提供する」といった推奨事項に貢献しています。

国連の持続可能な開発目標は、極度の貧困を止め、2030年までに不平等と不正と戦い、気候変動と戦うために2015年に公表されました。193か国が約束した17の目標があります。トピック1: World Sailing (ワールドセーリング) とレースをしましょう! では、次の目標を達成しましょう。



World Sailing's Sustainability Agenda 2030 (ワールドセーリングのサステナビリティアジェンダ2030)は、IOCのSustainability Strategy (サステナビリティ戦略)の5つの重要分野と同調しています。



インフラと自然利用



調達と原材料マネージメント



労働



移動



気候

トピックス

トピック1の内容：

- 世界のトップレース
- レースに参加する様々な船
- サステナビリティを配慮したセーラーとして世界中のレースに挑むための技術

「サステナビリティ教育プログラム」は6つのトピックがあります。

トピック 1	World Sailing (ワールドセーリング) とレースをしましょう！
トピック 2	資源と気候変動
トピック 3	野生動物と生物の多様性
トピック 4	ゴミの削減
トピック 5	オイルと燃料
トピック 6	船の清掃とメンテナンス



用語集



サステナビリティ

環境に害を与えることなく、枯渇することなく、長い間何かを使ったり、し続けたりすることができるという考え方。



粘り強さ

大変でもどうにかして成し遂げようと頑張り続けること。



勇気

怖がっていてもめげないで何かをしようとする事。



回復力

内面に強く、最善を尽くし、困難を乗り越える能力。



単独

助けなしで、一人で何かをする。



藻類

海藻など通常は水中で成長する生物。



管理

何かを大事にすること。

世話をする事。



さあ、出発しよう!



どこでレースができる？



夏季オリンピック

設立年:1984年(初回開催1900年)

参加ボート:船の種類が場合によって更新されます。2021年のオリンピックには、Finn(フィン)、Laser(レーザー)、Laser Radial(レーザーラジアル)、49er(フォーティーナイナー)、49erFX(フォーティーナイナーエフエックス)およびNacra(ナクラ)など17種類の船が参戦します。2024年のオリンピックでは、iQFOIL(アイキューフォイル)がデビューします。選手がオリンピックメダルを競う競技が10イベントもあります！

次回開催:2021年(夏季オリンピックは4年ごとに開催)

距離・期間:レガッタは2021年の大会では10日間開催されます。

クールな豆知識

2021年のオリンピックでのセーリング競技に参戦する男性と女性の選手人数は同じです。

知っていましたか？2008年の北京オリンピックでは、船がレースコースを通れるように、大会の1か月前にそのコースから100万トン以上の 緑にはびこった 藻類を取る必要がありました。⁽¹⁾



アメリカズカップ

設立年:1851年

参加ボート:Foiling Monohull (AC75) (フォイリングモノハル (AC75))

次回開催:2021年(レースの開催日程は未定。優勝したチームに他の資格あるヨットクラブが挑戦したら開催が決まります。)

距離・期間:15日間(2021年のレース)

クールな豆知識

アメリカはカップを132年間勝ち続けたこともあった！

知っていましたか？Land Rover BARのチーム(現在はTeam Ineosに改名)は、カーボンファイバーの会社と協賛して、2017年のレースのゴミを処理して新しいプラスチック製の複合材料やマットを作るように工夫しています。この材料で2021年に開催される第36回アメリカズカップに参戦する船の躯体を製造する予定です。⁽²⁾

トップセーラーとして、World Sailing (ワールドセーリング) の大会やスペシャルイベントで世界中のレースに参加できます。その中のトップレースのいくつかをチェックしてみましょう!



Ocean Race (オーシャンレース)

設立年: 1973年

参加ボート: Monohulls (モノハル) (V065)、IMOCA 60 (2つのクラス)

次回開催: 2021年~2022年 (3~4年ごと開催される)

距離・期間: 74000km・およそ9か月間

クールな豆知識

このレースは、世界で最も長くて過酷なプロスポーツの大会です。

知っていましたか? 2017~18年のレースのすべての立ち寄り地で給水ステーションを設けることにより、ペットボトルの使用本数を388207本も減らしました。⁽³⁾

SAILGP SailGP (セールGP)

設立年: 2018年

参加ボート: F50 (foiling catamaran) (フォイリングカタマラン)

次回開催: 2021年 (毎年開催される)

距離・期間: 各シーズンごと6イベント開催

クールな豆知識

SailGP (セールGP) のF50カタマランは、レースで50ノット以上の速度を記録した最初の船です!

知っていましたか? SailGP (セールGP) で、既存の船にはリサイクルされたカーボン (炭素) とペットボトルが使用されています。これからは、すべての船の部品をリサイクルして新しい製品に生まれかえる予定です。⁽⁴⁾



パラ(障害者)ワールドセーリング

設立年:1990年

参加ボート:現在、世界選手権のレースには、2.4mR、Hansa (ハンザ) 303とRS Venture Connect (RSベンチャーコネクト) が参加しています。

次回開催:2021年

距離・期間:イベントによってレガッタレースの期間は5〜7日間

クールな豆知識

セーリングは、障害の有無にかかわらず平等に参加できる数少ないスポーツの一つです。ほとんどの船は、障害のある人が操縦できます。

知っていましたか? 2000年以降の2.4mR船の世界選手権では、パラセーラーが世界選手権を4回優勝し、表彰台に昇る選手の35%を占めています。



セーリングクラブが近くにないのですが?

World Sailing (ワールドセーリング) のeSailing World Championship (eセーリング世界選手権) に参加しましょう!

ワールドセーリングがレースの新しい規則を作り、そのルールを仮想の世界にも実現することができました。Virtual Regatta (バーチャルレガッタ) とのパートナーシップにより、eSailing World Championship (eセーリング世界選手権) は2018年に立ち上げられ毎年開催されます。初年度には、74か国から170,000人のプレイヤーが参加しました! 熟練したセーラーからスポーツゲーマーまで、あらゆる人を対象としておりオンラインで無料で好きなだけレースに参加できます。この参加により得たポイントを蓄積してeセーリングの世界ランキングを確保することができます。

詳細については、
esailing-wc.com/
をご覧ください

出発進行!

セーラーがレースで使う船には非常に多くの種類がある。そのうちのいくつかを見てみましょう。



レーザー

センターボードの船

ハルの長さ: 4.23 m

ビームの長さ: 1.37 m

メインセイルの面積: 7.06 m²

ハルの材料: ガラス強化プラスチック

最高速度: 16.8ノット



フィン

センターボードの船

ハルの長さ: 4.5 m

ビームの長さ: 1.47 m

メインセイルの面積: 10.6 m²

ハルの材料: ガラス強化プラスチック

最高速度: 15ノット



レーザージャリアル

センターボードの船

ハルの長さ: 4.23 m

ビームの長さ: 1.37 m

メインセイルの面積: 5.76 m²

ハルの材料: ガラス強化プラスチック

最高速度: 16.8ノット



フォーティナイナー (スキフ)

センターボードの船

ハルの長さ: 4.99 m

ビームの長さ: 2.9 m

メインセイルの面積: 16.1 m²

ヘッドセイルの面積: 5.1 m²

スピネーカーの面積: 38 m²

ハルの材料: ガラス繊維とカーボンファイバー

最高速度: 25ノット



フォーティーナイナー・エフ・エックス(スキフ)

センターボードの船

ハルの長さ: 4.99 m

ビームの長さ: 2.9 m

メインセイルの面積: 13.8 m²

ヘッドセイルの面積: 5.8 m²

スピネーカーの面積: 25.1 m²

ハルの材料: ファイバークラスとカーボンファイバー

最高速度: 25ノット



ナクラ・セブンティーン

マリチハル

ハルの長さ: 5.25 m

ビームの長さ: 2.59 m

メインセイルの面積: 14.45 m²

ヘッドセイルの面積: 4.0 m²

スピネーカーの面積: 18.5 m²

最高速度: 25ノット以上



アイキューfoil

長さ: 2.2 m

材料: カーボンファイバーと発泡ポリスチレン

最高速度: 35ノット

クールな豆知識: ボードが一枚売れるごとにCO₂が吸収されるマングローブが植えられます。ボードのプラスチック・フットプリント(環境に与える負荷)の埋め合わせのため、使用した分と同じ重量のプラスチックが海洋から取り除かれます。



ヴィーオーシックスティファイブ

モノハル

ハルの長さ: 20.40 m

ビームの長さ: 5.60 m

メインセイルの面積: 163 m²

ヘッドセイルの面積: 135 m²

ダウンワードセイルの面積: 578 m²

材料: カーボンファイバー

最高速度: 39ノット

クールな豆知識: 海洋のマイクロプラスチックと二酸化炭素のサンプルを測定するため、一部の船には科学機器が装備されています。



IMOCAシックスティ

モノハル

ハルの長さ: 18.28 m

ビームの長さ: 5.85 m

セイルの面積: 591 m²

材料: カーボンファイバー

クールな豆知識: 多くのIMOCAには、船の機器に電気を供給するために、発電できるソーラーパネルが付いています。



フォーミュラカイト

フロントウイング: 550 cm²

テールウイング: 330 cm²

胴体: 75 cm

マスト: 95-100 cm

材料: カーボンファイバー

最高速度: 45ノット



フョイリングカタマラン

ウイングセイル・カタマラン

ハルの長さ: 15 m

ビームの長さ: 8.8 m

ウイングの高さ: 重いエアウイング: 18 m、軽いエアウイング: 28 m

ハルの材料: カーボンファイバー

最高速度: 53ノット

セーラーのプロフィール

ディー・カファリ

ディー・カファリは、世界を6周しています。彼女は、片手だけで世界中を両方向にノンストップ航海で世界1周することを成し遂げた初めての女性であり、世界中を合計3回ノンストップ航海した唯一の女性セーラーです。2017~18年開催のOcean Race(オーシャンレース)で「ターン・ザ・タイド・オン・プラスチック号(Turn The Tide On Plastic)」の船長を務めて6位を飾り、サステナビリティと海洋の健康改善のためにプラスチックを減らすことの重要性についてのメッセージをアピールできました。彼女はセーラーになる前は体育の教師でした。UKSA(英国セーリングアカデミー)でセーリングの資格を取得した後、彼女はトップセーラーと一緒に様々なヨットで働き始め、常に学びながら経験を積んできました。彼女は多くの質問を通してスキルを向上させるための練習に時間を費やしました。世界中のレースに挑むのには、相当の回復力と明確なコミュニケーション能力が必要であり、周りのチームを最大限に活用するために正直で誠実である必要があります。ディーはセーリングのキャリアの中でこれらのスキルを磨きつつ頑張りを続けているのです。



ヤゴ・ランゲ

ヤゴランゲは、skiff(スキフ) クラスのオリンピックセーラーであり、彼にとって最初の2016年のオリンピックでは、兄弟と並んで7位になりました。彼はオリンピック船のクラスパークのリーダーの一人であり、プラスチックによる汚染から海を守ることに重点を置いている環境活動家でもあります。彼は、セーリングコミュニティの積極的な持続可能な姿勢や行動を強調する中、プラスチックの使用が多すぎると判断した時は、レースやイベントに注意をすることを恐れない選手でもあります。

トピック2～6を参照して、サステナブルなトップセーラーへの道について学びましょう!



参考資料

ワールドセーリング

www.sailing.org

ワールドセーリングのサステナビリティアジェンダ2030

bit.ly/2sjGrKZ

eセーリング

www.esailing-wc.com

ディー・カファリ

www.deecaffari.co.uk

ヤゴ・ランゲ

[@yagolange](https://twitter.com/yagolange)

レースの豆知識

1. www.sailing.org/2008-olympic-games.php?view=fleetevent&rgtaid=16345&evntid=34314&includeref=regattaevents31821
2. www.boatinternational.com/yachts/americas-cup/video-how-land-rover-bar-is-recycling-americas-cup-carbon-fibre--35525
3. The Volvo Ocean Race 2017-18 Sustainability Report
<http://bit.ly/2E6JUJl>
4. www.sailgp.com/

写真

ページ 7: Laser © Sailing Energy/World Sailing | Finn © Robert Deaves | Laser Radial © Sailing Energy/World Sailing | 49er © Ricardo Pinto

ページ 8: 49er FX © María Muiña by Sailingshots.es | iQFOIL © Starboard | Nacra 17 © Laurens Morel | VO65 © Atila Madrona/Vestas 11th Hour Racing

ページ 9: IMOCA 60 © Amory Ross/11th Hour Racing | Formula Kite © Sailing Energy/World Sailing | F50 Catamaran © Matt Knighton for SailGP

ページ 10: Dee Caffari © Charlie Clift

ページ 11: Yago Lange © María Muiña by Sailingshots.es

その他の写真 © Robert Hajduk/World Sailing



ワールドセーリングの「サステナビリティ教育プログラム」の著作権はクリエイティブコモンズ





World Sailing

World Sailing Trust(ワールドセーリングトラスト)
の協賛によりThe Ocean Race 1973 S.L.
(オーシャンレース 1973 S.L.)との共同制作

協賛



WORLD
SAILING
TRUST

World Sailing
20 Eastbourne Terrace
London W2 6LG

Tel: +44 (0)2039 404 888

www.sailing.org

